

雲南市民の皆さまへ

身体教育医学研究所うんなんでは市民の皆さまの健康づくりを目的として教育活動や保健活動を実施するとともに、他研究機関と協力しながら様々な研究を実施しています。その一つとして、現在、下記の研究を進めております。

【研究課題】

身体活動を促進する地域介入が中高年者の身体活動量に与える効果：地域ランダム化比較試験の拡大普及研究（H28-10-5-1）

【研究機関名及び研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

主任研究機関	雲南市健康福祉部	身体教育医学研究所うんなん
研究責任者	主任研究員	北湯口純
担当業務	研究統括・介入管理・データ収集・匿名化・データ解析	

【共同研究機関】

研究機関	研究責任者	担当業務
東京大学 大学院医学系研究科保健社会行動学分野	鎌田 真光	データ解析
東京医科大学 公衆衛生学分野	井上 茂	研究統括支援・データ解析
早稲田大学 スポーツ科学学術院	岡 浩一朗	介入戦略の検討
島根大学 教育学部	原 丈貴	フィールド調整・介入支援
公益財団法人身体教育医学研究所	岡田 真平	介入戦略の検討

【研究期間】

平成 21 年 10 月 13 日～令和 5 年 3 月 31 日

【対象となる方】

雲南市に在住する 40 歳以上の方で、平成 21 年 10 月 13 日～平成 30 年 12 月 31 日の間に、身体教育医学研究所うんなんが実施する「運動と健康に関する追跡調査」に回答し、同意欄に署名した上で調査票を返送された方。

【研究の目的】

運動不足の対策は重要な健康政策上の課題となっています。この研究では、キャンペーンなどにより運動を普及する取り組みが、住民の皆さんの行動変容（運動実施）につながったか検証し、また、要介護・死亡リスクの低下といった健康長寿の実現に有効か明らかにすることを目的とします。また、政策上の観点から、費用対効果を検証します。

【研究の方法】

この研究は、身体教育医学研究所うんなん倫理委員会の承認を受け、身体教育医学研

研究所うなん所長(小山伸、雲南市健康福祉部部長)の許可を受けて実施するものです。研究には、「運動と健康に関する追跡調査」のアンケート回答情報を使用するほか、同意をいただいた方については、要介護認定・生存・疾病罹患に関する行政情報も分析に使用させていただきます。アンケート調査に回答いただく以外に、特に住民の皆さんに新たにご負担いただくことはありません。

また、前述の研究目的を達成するため、上記共同研究先には、匿名化され、個人情報や削除されたアンケート調査結果及び要介護認定・生存・疾病罹患に関する情報が、電子ディスクに保管され、郵送または直接受け渡しにより提供されます。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

あなたの情報・データ等は、当研究所のほか、データ解析を担当する上記共同研究施設に送られ解析・保存されますが、送付前に氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当研究所において北湯口純(管理責任者)が、個人情報管理担当者のみ使用できるパスワードロックをかけたハードディスクドライブ、及び鍵のかかるロッカーで厳重に保管します。ただし、必要な場合には、当研究所においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行うこともできます。

★この研究のためにご自分(あるいはご家族)のデータを使用してほしくない場合は、下記問い合わせ先(身体教育医学研究所うなん)までご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。ご不明な点がございましたら下記お問い合わせ先へお尋ねください。

この研究に関する費用は、身体教育医学研究所うなんの運営費及び共同研究を実施する研究者が獲得した研究資金(文部科学省科学研究費補助金等)から支出されています。

本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

尚、本研究に参加いただく方への謝金はございません。

令和2年1月

【問い合わせ先】

雲南市健康福祉部 身体教育医学研究所うなん
住所：〒699-1105 島根県雲南市加茂町宇治328番地
電話：0854-49-9050 FAX：00854-49-7050